

2025年4月2日

大阪・関西万博会場内のセブン-イレブン店舗と大阪ヘルスケアパビリオンにて newme による遠隔接客を実施します



ANAホールディングス発のスタートアップであるavatarin株式会社（代表取締役CEO：深堀 昂、以下：avatarin(株)）は、株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下：セブン-イレブン）の協力のもと、2025年日本国際博覧会（以下：大阪・関西万博）の会場内のセブン-イレブン2店舗（西ゲート店、ウォータープラザ店）^{※1}と大阪ヘルスケアパビリオンのパーソナルフードスタンド前^{※2}にて、アバターロボット「newme（ニューミー）」による遠隔接客を万博開幕日の2025年4月13日より実施します。

新たなテクノロジーや最新のオペレーション技術を活用したスムーズな店舗運営により「未来型」の営業店舗を目指すセブン-イレブンの協力のもと、avatarin(株)はお客様による無人レジなどの機器利用サポートをはじめ、お客様のお買い物中の困りごとや不明点について独自開発のnewmeを用いて対応することで、新たな接客AIモデルの構築を目指します。

◆実証概要

日時： 2025年4月13日(日)～10月13日(月)（予定）
アバター設置場所： 万博会場内 セブン-イレブン西ゲート店、セブン-イレブンウォータープラザ店
大阪ヘルスケアパビリオン パーソナルフードスタンド前
アバター操作場所： 万博会場内 NTTパビリオンバックヤード
実施内容： セブン-イレブン店舗： 無人レジの操作サポート
大阪ヘルスケアパビリオン： パーソナルフードスタンドの操作サポート

avatarin(株)は、世界最大の人助けネットワーク構築を目指し、「遠隔から AI 化」という独自の手法を用いて、遠隔からお客様をサポートする接客 AI サービス「avatarin」の開発を目指しています。

人と AI が共存可能な遠隔からお客様をサポートする接客 AI サービス「avatarin」の特徴を活かして社会課題の一つである人材不足の解消に貢献していきます。

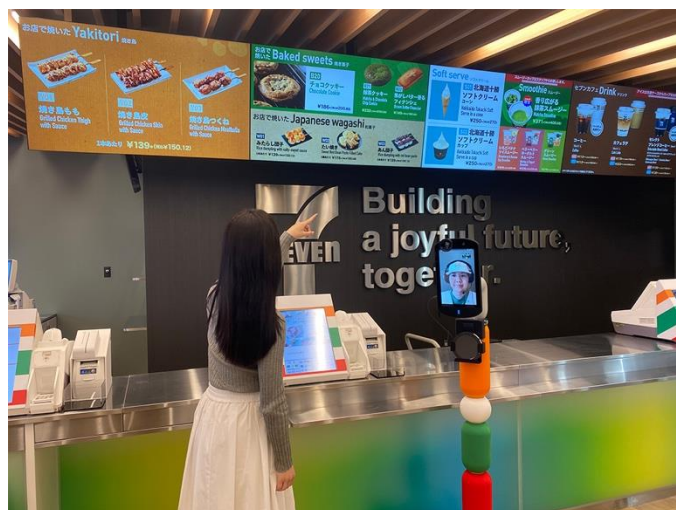
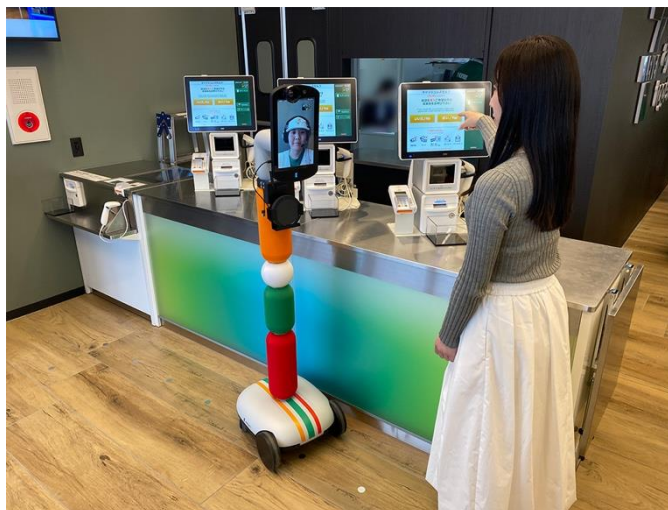
- ※1 株式会社セブン-イレブン・ジャパン ニュースリリース
大阪・関西万博会場内に“未来型店舗”

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/

- ※2 株式会社セブン-イレブン・ジャパン ニュースリリース

2025 年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 大阪ヘルスケアパビリオンへ参画

https://www.sej.co.jp/company/news_release/news/2024/202412201000.html



以上

◆avatarinとは

人が、物理的に離れた場所にある、AIロボットなど別の存在に乗り移る（インする）こと。
また、人類のさまざまな情報や能力も、その存在に搭載する（インする）こと。
アバターインはサービス名であり、社名でもあり、
「アバターインする」のように、動詞としても表現されます。

◆avatarin株式会社とは

AIやロボティクスなどのテクノロジーを用いて困った人を助ける「世界最大の人助けネットワーク」の構築を目指しているANAホールディングス発のスタートアップです。

様々な業種のプロフェッショナルが持つスキルをAI化して共有できる世界共通のプラットフォームを構築し、そこに接続されたロボットやモビリティをはじめとした多種多様なデバイスに「アバターインする」ことで、だれもが、いつでも、どこでも助け合える世界となることを目指しています。

その世界の実現に向け、「遠隔からAI化」という独自の手法を用いてマルチモーダルAIを開発し、これを搭載するコミュニケーションAIロボット「newme（ニューミー）」やモバイルツールなどを活用して、「困っている人」と「プロフェッショナルのスキル」を繋ぎます。

<https://about.avatarin.com/>

◆遠隔から AI 化

コミュニケーション AI ロボット「newme（ニューミー）」を遠隔操作して見て、聞いて、話して、動き回ってサービスを提供する過程で、個人が特定できないような形で映像や音声、制御などの複合的なデータ（マルチモーダルデータ）を同時に記録し、それを元に AI 学習を行うこと。

◆コミュニケーション AI ロボット「newme（ニューミー）」

遠隔地を自由に動きまわり、自分の目で見て、話すことができる、コミュニケーションに特化したロボット。

◆遠隔からお客をサポートする接客 AI サービス「avatarin」

「遠隔から AI 化」という独自の手法を用いて開発されたコミュニケーションに特化した AI を活用し、人材不足が進む中、人と AI が共存できるまったく新しい接客ソリューション。

人とハイレベルな接客スキルを学習した AI を搭載したロボットとの共存により、ロボットが介在しながらも人のあたたかみのある接客をすることで、接客品質および接客オペレーションの維持・向上が図れます。

※AI 関連の機能およびサービスは開発中です